

平成 21 年 度

大分大学大学院医学系研究科

修 士 課 程

(第 3 次募集)

学 生 募 集 要 項

看 護 学 専 攻

出願期間：平成 21 年 2 月 26 日(木)～2 月 27 日(金)

試験期日：平成 21 年 3 月 10 日(火)

合格者発表：平成 21 年 3 月 20 日(金)

平成 21 年 2 月

大 分 大 学

目 次

大分大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー	1
【学生募集要項】	
1. 募集人員	3
2. 募集する専攻コース	3
3. 出願資格	3
4. 出願資格認定	3
5. 出願手続	4
6. 出願上の注意事項	6
7. 障がいのある者等の事前相談について	6
8. 入学者選抜方法	6
9. 合格者発表	6
10. 入学手続	7
11. 修了後の取得資格について	7
12. 長期履修制度について	7
13. 社会人への特例措置(昼夜開講制)	8
14. がん専門看護師の資格取得を希望する者の履修について	8
【入学案内】	
1. 入学案内	9
2. 看護学専攻 授業科目の講義等の概要及び担当教員	10
3. 看護学専攻 履修方法及び概略図	15
4. 看護学専攻 指導教員の連絡先一覧	17
5. 修了の要件	18
6. 学位の授与	18
7. 入学料及び授業料	18
8. 奨学金制度	18
9. 大分大学入学料・授業料奨学融資制度	18
10. 学生教育研究災害傷害保険	19
11. 長期履修制度について	19
大分大学位置図	20

大分大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー

基本理念

複雑化・高度化する医学・医療の分野で、常に最新の学術を教授・研究し、高度の医学及び看護学の知識と技術並びにそれらの本義を見失わない倫理観と、それを支える豊かな教養を身につけた教育・研究者及び医療人を養成し、もって医学及び看護学の進歩、国民の健康の維持増進、更に医療・保健を中心に地域及び国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

修士課程

優れた指導力を持った教育・研究者、医療人及び技術者を育成するため、理論的・実践的教育を通じて、医学・医療の諸問題に対処できる判断力と問題解決能力の涵養を図ります。

(医科学専攻)

体系的・集中的な教育により、医学以外の専門知識を備えた人材に、それぞれの専門分野と融合した新たな医学に関わる教育・研究分野や技術を創出できる研究者の養成を目指します。

(看護学専攻)

社会や保健・医療・福祉の変化を見据え、看護の質向上を実現できる実践力を養い、看護実践・看護管理・看護教育の場でリーダーシップを発揮できる高度専門職業人の養成を目指します。

博士課程

国際的に活躍できる自立した教育・研究者及び診療能力の高い臨床医の育成を主眼とし、そのための能力と基礎となる豊かな学識及び人間性を持った人材の養成を目指します。

求める学生像

修士課程

(医科学専攻)

- 1 医学の基本的知識や研究手法を理解・吸収し、各自の専門分野の研究や技術に応用することにより新しい発想の研究や技術開発を志す人
- 2 近年の医学・医療を取り巻く環境を理解し、全ての人々が健康で幸福な生活を享受できる社会の実現を目指し、新たな視点で保健、医療、福祉等の問題解決への取り組みを志す人
- 3 医学と各自の専門分野との融合を図り、健康増進に関連する産業界の活性化への貢献を志す人
- 4 豊かな人間性や指導力を持った教育・研究者として自立し、博士課程への進学を志す人

(看護学専攻)

- 1 看護実践及び看護管理に関する高度な専門知識及び技術の習得を志す人
- 2 保健・医療・福祉の専門職との連携において、看護専門職として主体的行動ができ、優れた指導力を発揮する能力を培うことを志す人
- 3 看護の理論と実践に関する豊富な知識と高度な技術を習得し、優れた教育活動の実施を志す人
- 4 看護理論の検証や看護技術の開発・検証を行い、実践に応用することを志す人

- 5 複雑かつ多様な健康問題について、柔軟に対応することができ、学術的・国際的に活躍することを志す人

博士課程

- 1 医学の分野において、国際的な舞台で活躍することを志す人
- 2 専門分野における高度な知識を吸収し、その整理・明確化を行い、問題点の発掘を行い、その本質を基礎医学、臨床医学、社会医学等の枠にとらわれない総合的・科学的観点から探求し、自らが設定した課題について研究を志す人
- 3 自らの研究成果について、国際的に評価の定まっている学術誌に公表し、積極的に評価を受けることを志す人
- 4 医学の進歩に貢献し、人類の健康について、維持・増進への取り組みを志す人
- 5 国民のがんに対する関心・意識の高まりに伴い、高度な教育・研究・診療能力を兼ね備えたがんプロフェッショナルを志す人

入学者選抜方針

修士課程

(医科学専攻)

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、医学以外の学部出身者を対象に、近年急速な進歩により著しい発展を遂げた医学・医療の分野を多様な観点から捉え直す能力を求めます。そのため、各自の多様な専門分野と医学の分野との融合に関して明確な目的意識と基礎的知識及び柔軟な発想を求めます。

(看護学専攻)

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、昼夜開講制を導入して看護職経験者を積極的に受け入れます。こうした志願者を含め看護学の更なる探求心と倫理観豊かな医療人としての素養を求めます。

博士課程

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、高度な専門的知識、技術及び能力を求めます。また、これらを支える高い道徳観と豊かな人間性を備え、国際的・学際的に活躍できる資質を求めます。

学 生 募 集 要 項

1. 募集人員

看護学専攻 8名

2. 募集する専攻コース

看護管理・教育コース	両コース併せて8名
看護実践コース (含むがん専門看護師教育課程)	

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者（平成21年3月末までに出願資格に該当する見込みの者も可）

大学を卒業した者

学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

外国において学校教育における16年の課程を修了した者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

大学に3年以上在学した者，外国において学校教育における15年の課程を修了した者，外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者，又は我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で，本学大学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの

専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，22歳に達したものと及び平成21年3月末日までに22歳に達するもの

4. 出願資格認定

出願資格 のいずれかにより出願しようとする者については，事前に出願資格の審査を受け，出願資格を有することが認定された者のみ出願することができますので，関係書類を次により提出してください。（出願資格認定を希望する者は，事前に志望する指導教員に相談してください。）

(1) 出願資格 により出願しようとする場合

提出書類等	摘 要
出願資格認定申請書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
成績証明書	出身学校の長が証明したもの。
在学証明書 (在学年次が明記されているもの)	出身学校の長が証明したもの。

(2) 出願資格 により出願しようとする場合（次の認定基準を満たしている場合に限り。）

認 定 基 準

看護系短期大学，専修学校，各種学校等の卒業生で，次の各号の全てに該当するもの

ア 看護師，保健師又は助産師の資格を有すること。

イ 上記アの資格で，5年(実質)以上の実務経験があること。

ウ 学会発表若しくは研究論文等の研究業績があること。

エ 研究テーマを持ち，意欲的に学ぶ姿勢があること。

提 出 書 類

提出書類等	摘 要
出願資格認定申請書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
業 績 一 覧	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。（主な業績のコピーを各1部添付してください。ただし，提出する業績は3篇までとします。）
研 究 計 画 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
免 許 証 の 写	看護師，保健師又は助産師の免許証の写（A4サイズに縮小してください。）
在 職 期 間 証 明 書	5年(実質)以上の実務経験を有することの証明書

(3) 提出期間 平成21年2月16日（月）17時まで（必着，1日のみ）

(4) 提出方法 郵送に限ります。

「速達簡易書留」郵便で，封筒の表に「出願資格認定申請書在中」と朱書きし，郵送してください。

(5) 提出先 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）

(6) 認定の結果 認定の結果は，平成21年2月20日（金）までに本人に通知します。

5．出願手続

(1) 出願期間 平成21年2月26日（木）～2月27日（金）

(2) 出願方法

第2志望まで出願することができます。

出願を希望する者は，**出願する前に志望する指導教員（P.17に掲載されている指導教員の教育・研究内容及び連絡先一覧を参照）と相談の上**，志望する専攻コースを定めて出願してください。第2志望まで出願する者は，第2志望の指導教員にも必ず相談してください。

出願書類等は，持参又は郵送により，平成21年2月27日（金）17時までに提出してください。

願書受付場所 大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）

受付時間 9時から17時まで


郵送の場合 「速達簡易書留」郵便で，下記あてに郵送してください。

（平成21年2月27日（金）17時必着）

（あて先）〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課

(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
入 学 志 願 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。
入学検定料払込証明書 (30,000円)	<p>以下のいずれかの方法により本学指定口座に振込んでください。</p> <p>郵便局・その他の金融機関での払込 本学所定の振込用紙を用い、郵便局・その他の金融機関窓口で振込手続きを行ってください。</p> <p>コンビニエンスストア(一部)での払込 本学ホームページ http://www.oita-u.ac.jp/ (携帯版は http://daigakujc.jp/u.php?u=00041)から払込専用ホームページへアクセスするか、もしくは直接下記URLにアクセスし、指示に従い払込手続きを行ってください。</p> <p>(払込専用URL) http://www.oita-u.net/ (携帯電話用URL) http://www.oita-u.net/mobile/</p>  <p>振込み後は、 の場合は郵便振替払込受付証明書(大学提出用)を、 の場合は収納証明書(コンビニによっては領収書)を、受験票下の貼付欄にはがれないように糊付けしてください。手数料は本人負担です。 ただし、国費外国人留学生については、納付する必要はありません。</p>
成 績 証 明 書	出身学校等の長が証明したもの。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
卒 業 (見 込) 証 明 書 又は修了(見込)証明書	出身学校等の長が証明したもの。
学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書	出願資格 に該当する者は、大学評価・学位授与機構が証明した学位授与証明書又は学位授与申請書受理証明書を提出してください。
研 究 計 画 書	本要項に添付している本学所定の用紙を使用してください。 (ただし、出願資格認定申請時に提出済みの場合は、不要です。)
あ て 名 票	本要項に添付しているあて名票に志願者の郵便番号、住所(合格通知等を受け取る場所)及び氏名を必ず記入してください。
受験票等送付用封筒	本要項に添付している本学所定の長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手(350円)を貼ってください。
外国人登録済証明書	外国籍を有する者は、市・区・町・村長の発行した外国人登録済証明書を提出してください。なお、入学志願書等には、この証明書記載の氏名を記入してください。
受験及び就学承諾書	在職のまま在学しようとする者(本要項P.26参照)は、出願に際して本要項に添付している本学所定の用紙により、所属機関長(病院所属であれば病院長)の受験及び就学承諾書を提出してください。また、提出にあたっては、 事前に指導教員と相談 してください。

6. 出願上の注意事項

- (1) 入学志願書の記入漏れ等がないように十分留意してください。
- (2) 一度受理した出願書類等及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願期間後に到着したもの及び出願書類等の不備なものは受付できません。
- (4) 出願書類等は一括してとりそろえ、志願者が直接出願してください。
- (5) 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (6) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。

7. 障がいのある者等の事前相談について

障がいのある者等で、受験上特別な措置及び就学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、平成21年2月16日（月）までに、下記事項を記載した相談申請書（様式任意）に医師の診断書を添えて本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・就学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

8. 入学者選抜方法

(1) 学力検査等

小論文(看護学及び医療・保健・福祉に関する問題)、口述試験及び成績証明書により行います。

(2) 試験期日及び学力検査科目

期 日	科目名等	時 間
平成21年3月10日(火)	小 論 文	10時30分～12時00分
	口 述 試 験	13時00分～

試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

(3) 試験場

大分大学医学部 挟間キャンパス

所 在 地 大分県由布市挟間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地
(P.20 大分大学位置図参照)

交通アクセス バス利用(大分バス)
トキハデパート前又はJR大分駅前から「大学病院」行きを利用。
(所要時間約40分：410円)

9. 合格者発表

平成21年3月20日(金)10時

大分大学旦野原キャンパス教養教育棟前及び挾間キャンパス管理棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には郵送により通知します。

また、大分大学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲載します。

なお、電話による合否の問い合わせには一切お応えできません。

10. 入学手続

(1) 入学手続日 平成21年3月26日(木)・27日(金)

(2) 受付時間 9時から17時まで

入学手続の詳細については、合格通知とともに送付する「入学手続のご案内」によりお知らせします。

なお、入学手続き日に入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

11. 修了後の取得資格について

本専攻は教職課程の認定を受けております。

養護教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状「看護」を所持する本専攻入学者に対して、本専攻を修了することにより、それぞれ養護教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状「看護」を取得する資格が与えられます。

12. 長期履修制度について

修士課程看護学専攻では平成17年度から、長期履修制度を導入しました。

この制度では、標準修業年限を超えて計画的に授業科目を履修し修了することにより学位を取得することができます。長期履修制度を利用できる対象者は、有職者及び正規の履修期間内で修学が困難な事情がある者(家事、育児及び介護など)です。

この制度の利用は原則として入学時の申請により認められます。また、修学状況等の変動により、申請した修業年限を短縮することも可能です。

長期履修学生として認められた場合の授業料は、2年間(標準修業年限)に支払うべき授業料総額を、あらかじめ認められた修業年限で除した額をそれぞれの年(学期)に支払うことになります。

(下記の「授業料の納入例」参照)

なお、申請方法等については後日合格通知書等でお知らせします。

【授業料の納入例】(年度により変更がないと仮定した場合)

標準修業年限(2年)

1年次 (535,800円)	2年次 (535,800円)	1,071,600円
-------------------	-------------------	------------

ア 入学時に申請し、3年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (357,200円)	2年目 (357,200円)	3年目 (357,200円)
-------------------	-------------------	-------------------

$1,071,600円 \div 3年 = 357,200円$ (1年間の授業料)

イ 入学時に申請し、4年の長期履修学生として認められた場合の授業料年額

1年目 (267,900円)	2年目 (267,900円)	3年目 (267,900円)	4年目 (267,900円)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

$1,071,600円 \div 4年 = 267,900円$ (1年間の授業料)

13. 社会人への特例措置（昼夜開講制）

近年、大学院における社会人の再教育への要望が高まっていますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されることとなります。このため、大学院設置基準第14条では、次のような規定のもとに、社会人の就学への配慮をしています。

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

このことを踏まえ、本学修士課程看護学専攻では、社会人が更なる探求の機会を取得できるように、上記の「教育方法の特例」を適用して、昼夜開講制による授業等を平成16年度から実施しています。

14. がん専門看護師の資格取得を希望する者の履修について

本学修士課程看護学専攻では、平成21年度より専門看護師「がん看護」の資格取得に必要な授業科目を設けますので、これにより、平成20年度現在の授業科目（P.10）が変更される予定です。平成21年4月から適用の教育課程は、平成22年度に日本看護系大学協議会における「専門看護師教育課程」の認可の申請を行う予定です。

専門看護師資格取得に必要な教育課程における履修科目や実習などの要件が、P.15「3.看護学専攻履修方法及び概略図」と異なる部分もあるので、志望する者はあらかじめ事前相談窓口の福井幸子教授（P.17の指導教員の連絡先一覧参照）に必ず相談して出願してください。

入 学 案 内

1. 入学案内

1) 大分大学大学院医学系研究科の理念

最新の学術を教授・研究し、高度の医学及び看護学の知識と技術並びにそれらの本義を見失わない道徳観と、それを支える豊かな教養を身につけた医療人及び研究者を育成し、もって医学及び看護学の進歩、国民健康の維持増進、さらに医療・保健を中心に地域及び国際社会の福祉に貢献する。

また、「患者本位の最良の医療」を基本理念とし、高度先進医療の開発と提供及び倫理観豊かな医療人の育成により地域社会の医療・福祉の向上に貢献する。

2) 大学院医学系研究科修士課程の教育目標

医療全般にわたって広い視野と高い見識を持ち、優れた指導力を持った教育者、研究者及び国際社会に貢献できる人材を育成する。

3) 大学院医学系研究科修士課程看護学専攻の教育目的・目標

教育目的

医療全般にわたって広い視野と高い見識を持ち、専門的な知識と科学的思考、論理的判断を基に他の職種と連携をとりながら、個人とその家族又は集団の持つ健康問題の解決のために適切な援助ができる豊かな人間性を持った看護実践専門家、優れた指導力を持った看護教育者、看護学の学問体系の確立のための研究者及び国際社会に貢献できる人材を育成する。

教育目標

共通科目及び専門科目における講義、演習、臨地実習及び特別研究を通して、以下の資質を備えた人材を育成する。

- (1) 看護倫理を各専門領域の看護実践に応用することができる人材
- (2) 看護実践及び看護管理に関する高度な専門知識と技術を発揮することができる人材
- (3) 保健・医療・福祉の専門職との連携において、看護専門職としての意思決定及び主体的行動がとれるとともに、指導力を発揮することができる人材
- (4) 看護教育の理論と実践に関する高度な知識と技術を修得し、優れた教育活動を実践することができる人材
- (5) 看護理論の検証や看護技術の開発、検証を行い、実践に応用することができる人材
- (6) 複雑かつ多様な人々の健康問題に柔軟に対応し、学術的及び国際的に活躍することができる人材

4) 修業年限

2年を標準とします。

5) 学生定員

	入学定員	収容定員
看護学専攻	16	32

2. 看護学専攻 授業科目の講義等の概要及び担当教員 (平成20年度現在)

区分	授業科目	講義等の概要	担当教員
共通 必須 科目	看護理論	実践科学としての看護学を追求する。学問構築の意味を理論分析や他の学問領域の理論と比較しながら明らかにし、看護学の基盤としての看護哲学及び科学史との関連を検証、看護科学とは何かを探究する。	新開 淑子
	看護倫理	「生命」「人間の尊厳」とは何かを探究する。そこで得た視点から看護における倫理的諸問題を分析し、問題解決のための方法を追究する能力を養うと共に、看護専門職の責務・役割について考察する。	宮崎 史子
	看護研究概論	看護研究の概念、研究のタイプと研究方法・研究のプロセス・文献検討・研究倫理・研究計画の立案について英語文献の抄読を通して概観し、看護学の研究動向について論述する。	三重野英子
共通 選 択 科目	看護研究方法論	研究とは自らが設定した仮説を証明すること。証明方法には量的分析法と質的分析法があり、ここではそれぞれについて具体的な手法を学ぶ。	穴井 孝信
	保健医療福祉政策論	日本の保健医療福祉政策について学ぶとともに、他国の政策や過去の政策との比較という視点を取り入れて、看護実践をとりまく法律や制度を学ぶ。	杉田 聡
	看護コンサルテーション論	コンサルテーションの実際として、CNS (Clinical Nurse Satisfied)の業務を理解し、医療チームの中で、看護職が職務を遂行する過程で直面する問題を解決していけるように、基本概念を確認しつつ、相談された問題の現実的な理解と問題解決をはかる能力を養う。	井手知恵子
	看護生涯教育論	看護者の生涯学習を支援するために、生涯教育理論を基盤にした学習、及び人間形成に関する内容・方法、社会的システム、教育計画・条件整備などについて学ぶ。	福井 幸子
	看護実践イノベーション論	変化する医療環境や看護の対象者のニーズに応じ、より質の高い看護を提供していくための看護実践について、特に「改善活動」に焦点をあて、イノベーションの視点から看護サービスマネジメントを検討する。	原田 千鶴
	看護解剖学	看護は疾病の有無に関わらず、新生児から老年を対象として、生活・行動を支援する必要がある。本科目は生活・行動、環境、健康そして看護実践に焦点をあてて、解剖学講義演習を行う。	島田 達生

区分	授業科目	講義等の概要	担当教員
共通選択科目	性差生物学	人間の構造上・機能上の性差を明らかにする。また、性の起源と有性生殖の意義及びホルモンと性差の関連を考える。加えて、性差に関する看護師の意思や対象との関わりについて学習する。	島田 達生
	保健統計学特論	看護学における研究や臨床における活動をまとめる際に必要な統計技法を学ぶ。内容は、記述統計、t検定といった基礎的なものから、重回帰分析、多項ロジスティック回帰等の多変量解析も含む。	杉田 聡
	病態治療学	臨床現場で遭遇する様々な現症における生体内反応、生体内物質連鎖・相互作用や各臓器の反応を学習し、より高度な看護アセスメントにつながることを目標とします。主に医系教員によるオムニバス形式で授業を行います。	井上 亮
	看護アセスメント学特論	身体の健康状態を適切に捉え、査定するためのフィジカル・アセスメント技術を修得する。看護実践の場で用いている技術を再検討し、看護者による系統的フィジカル・アセスメントの方法論を探究する。	三重野英子
	看護アセスメント学特論	本科目は看護アセスメント学特論の関連科目に位置付けられ、対象者に適した看護実践を導くための方法「心理社会的アセスメント」について学ぶ。その際、実践例を通してアセスメントの基盤となる諸理論や方法を理解する。	新開 淑子
	特別講義	看護実践の理論と方法論に関連する今日的課題をテーマとした公開講座を行う。テーマ：医療制度改革と看護、個人情報保護法と看護、災害看護、医療安全、虐待予防に向けた看護等	三重野英子
専門コース科目	看護管理・教育コース 医療連携論	<p>医療の対象や医療の場が多様化しているなかで、対象やケアを提供する者、さらに社会の制度が連携システムをどのように構築していくのかを検討する。そのなかで看護職者としての役割を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床や施設と在宅、病院と診療所と施設などの地域医療連携の現状と課題、体制の推進の方向性 看護が担う地域医療連携部門の役割 	福井 幸子

区分	授業科目	講義等の概要	担当教員
専門コース 看護管理・教育コース	看護組織論	<p>組織論に照らして、自身の身近な医療・保健・福祉の組織を概観する。さらに、他職種、他部門、他施設、地域の異なる組織の人が協働するための方法論・システム構築について検討する。さらに組織的に看護サービスの継続的質の改善をめざす方策について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織論における保健医療福祉の組織の現状 ・異なる組織間での協働や連携の方略 ・看護サービス提供システムとしての評価 	福井 幸子
	看護人材育成論	<p>医療の改革が進む中で効果的・効率的により質の高い看護サービスを提供していくためには、看護の専門職者のキャリアをどのように開発・活用し、管理していけばよいのかについて検討する。</p>	原田 千鶴
	看護経営論	<p>経済的視点から医療保健福祉を概観する。さらに医療経済における、医療サービスや看護サービスの合理的提供システムを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保健福祉の経済性と制度変遷の関連性 ・医療経済の仕組みと診療報酬制度、その中の看護サービスの報酬 ・看護サービスの評価と改善の方略 	福井 幸子
	看護基礎教育論	<p>看護を学ぶ学習者が、質の高い看護を提供するための看護学教育の理論・方法を学ぶ。看護学教育についての歴史的展開、基本的な原理、制度、内容、方法の視点を踏まえ、現在の看護学教育実践の分析・考察を試みる。</p>	
	看護専門職教育論	<p>チーム医療実践における看護の専門職のあり方、倫理的側面から、看護専門職の役割と責任について検討し、生涯教育の視点から看護専門職の教育を検討する。</p>	原田 千鶴
	地域看護管理・教育論	<p>地域看護活動において、人々の健康レベルの向上を図る管理・組織運営機能について理解し、看護職の政策形成やその役割遂行上の課題を検討する。これにより地域の健康管理を保障する看護活動方法を探究する。</p>	井手知恵子
	健康と病いの社会学	<p>看護学の領域を含めた健康と病いに関わる事象を医療社会学の理論や手法により探求する。内容は、健康の不平等格差、医療者 - 患者関係、保健行動、病者役割、逸脱と医療化、等を含む。</p>	杉田 聡

区分	授 業 科 目	講 義 等 の 概 要	担当教員
専 門 コ ー ス 目 録	看護管理・教育コース		
	健康と病いの思想	看護学の領域も含めた健康と病いに関わる事象を考察する際に有用な思想を学ぶ。内容は、正常と異常の概念、医療者による社会統制と個人の自己決定、健康の権利と義務、ジェンダーとセクシュアリティ等を含む。	杉田 聡
	実践課題実習	看護管理あるいは看護教育における実践上の課題を明確にし、問題解決へ向けての実践計画の立案、さらにその実践計画を実行し評価を行う。	看護系教員 (各教授及び 各准教授)
	成長発達看護学	人のライフサイクル(受胎から)にそって、発達過程、社会の変動と健康及びその価値観などの視点から、対象理解と看護について諸理論と技術を学習する。 ・受胎から新生児の看護 ・乳幼児期から学童・思春にある人の看護 ・成人期にある人の看護 ・老年期にある人の看護	水谷 幸子
	クリティカル看護論	クリティカル・ケア看護は、生命危機の状態にある患者の身体的安定・合併症予防や人としての尊厳を保ち、さらにその家族のニーズに応じた専門的な看護を提供することである。そのために求められる知識・技術・態度を探究する。	井上 亮
看護実践コース			
	慢性期看護論	慢性の経過を辿る生活習慣病(糖尿病など)や難病(膠原病など)をもつ患者に対する看護実践には、特有の専門的知識や技術が必要である。本科目では、慢性疾患の特徴や慢性期にある人を理解し、ケアするための理論や諸概念(セルフケア論、自己効力感、エンパワメント、病みの軌跡など)を学ぶ。これらを踏まえて、チーム医療、保健・医療・福祉の連携、継続看護(入院・外来・在宅)の実践能力を養う。	濱口 和之
	緩和ケア論	終末期がん患者を対象にした緩和ケアを中心に現状や課題・展望について考える。 ・がん性疼痛及び症状マネジメントとケア ・精神的・社会的・霊的苦痛に対するアプローチ法 ・患者の家族のセルフケアを高める看護 ・緩和ケアにおける倫理的問題 ・がん治療における緩和ケアの課題	福井 幸子

区分	授 業 科 目	講 義 等 の 概 要	担当教員	
専 門 コ ー ス 科 目	看 護 実 践 コ ー ス	在 宅 看 護 論	<p>現在の在宅医療における在宅看護が果たす役割について、在宅で療養する様々な対象のニーズや制度などの環境の視点から考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療依存度の高い患者の看護 ・終末期がん患者の看護 ・家族のセルフケアを高める訪問看護技術 ・医療依存度の高い患者やがん患者の地域医療システムの構築 ・急性期医療機関と在宅医療機関との連携の課題 ・医療保険や介護保険制度がもたらす課題 	福井 幸子
		サクセスフルエイジング論	<p>加齢エイジングの概念を理解し、人々が生まれて最期を迎えるまでの一生涯にわたるセルフケア能力・QOL向上への看護の方法論を探究する。主として、生活習慣病予防・介護予防に関する援助を考える。</p>	三重野英子
		ヘルスプロモーション看護論	<p>ヘルスプロモーションの概念と国際的動向をふまえ、個人の健康推進を支援する方法論の開発と、健康推進のための技術の開発、組織の改変、政策づくりなどの環境整備における看護の機能について探求する。</p>	志賀たずよ
		家 族 看 護 論	<p>家族を単位とした看護ケアの発展をめざし、家族看護学の背景理論と家族アセスメント、家族ケア機能を高める援助方法、家族の心理的サポート、健康教育、ケアマネジメント、家族カウンセリング、家族療法などの援助方法について理解する。</p>	井手知恵子
		リハビリテーション看護論	<p>リハビリテーション・障害の概念を理解し、リハビリテーションチームにおける看護の専門性を探究する。主として、身体機能に障害があるクライアントの看護の理論と方法論を扱う。</p>	三重野英子
		実 践 課 題 実 習	<p>看護実践の場における実践上の課題を明確にし、問題解決へ向けての実践計画の立案、さらにその実践計画を実行し評価を行う。</p>	看護系教員 (各教授及び 各准教授)
特 別 研 究	特 別 研 究	<p>研究課題の明確化を図る。研究計画を立案し、データを収集、分析する。論文を作成後にプレゼンテーションを行う。</p>	各教授及び 各准教授	
	実 践 課 題 研 究	<p>看護実践上の問題及び課題の明確化を図る。看護実践計画立案と看護実践のデータ化、分析を行い、論文を作成する。論文作成後にプレゼンテーションを行う。</p>	各教授及び 各准教授	

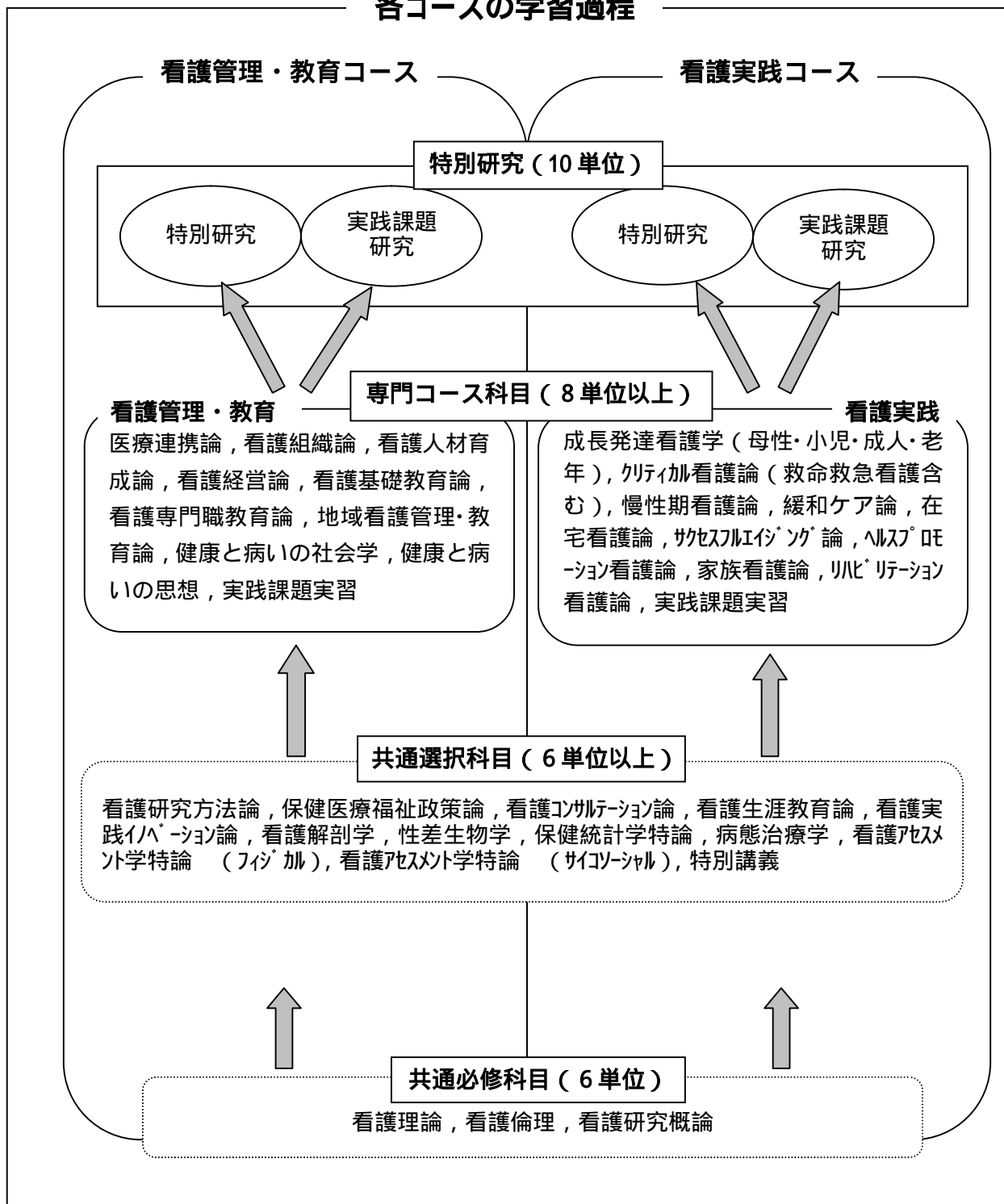
は隔年開講のため、平成 20 年度は開講していません。

3. 看護学専攻 履修方法及び概略図（平成20年度現在）

指導教員の指導・助言のもとに、別表に掲げる授業科目のうち、共通必修科目6単位、共通選択科目から6単位以上、選択した専門コース科目8単位以上、特別研究10単位の計30単位以上を履修するものとする。

区分	授業科目	必要単位数	開講年次	専攻コース		
				看護管理・教育コース	看護実践コース	
共通必修科目	看護理論	6単位	1年・前期	2	2	
	看護倫理		1年・前期	2	2	
	看護研究概論		1年・前期	2	2	
共通選択科目	看護研究方法論	6単位以上	1年・前期	2	2	
	保健医療福祉政策論		1年次	2	2	
	看護コンサルテーション論		1・2年次	2	2	
	看護生涯教育論		1・2年次	2	2	
	看護実践イノベーション論		1・2年次	2	2	
	看護解剖学		1・2年次	4	4	
	性差生物学		1・2年次	2	2	
	保健統計学特論		1・2年次	2	2	
	病態治療学		1・2年次	2	2	
	看護アセスメント学特論		1・2年次	2	2	
看護アセスメント学特論	1・2年次	2	2			
特別講義	1・2年次	2	2	2		
専門コース	看護管理・教育コース	8単位以上	医療連携論	1・2年次	2	-
			看護組織論	1・2年次	2	-
			看護人材育成論	1・2年次	2	-
			看護経営論	1・2年次	2	-
	看護基礎教育論		1・2年次	2	-	
	看護専門職教育論		1・2年次	2	-	
	地域看護管理・教育論		1・2年次	2	-	
	健康と病いの社会学		1・2年次	2	-	
	健康と病いの思想		1・2年次	2	-	
	実践課題実習		1・2年次	2	-	
入科目	看護実践コース	8単位以上	成長発達看護学	1・2年次	-	2
			クリティカル看護論	1・2年次	-	2
			慢性期看護論	1・2年次	-	2
			緩和ケア論	1・2年次	-	2
			在宅看護論	1・2年次	-	2
			サクセスフルエイジング論	1・2年次	-	2
			ヘルスプロモーション看護論	1・2年次	-	2
			家族看護論	1・2年次	-	2
リハビリテーション看護論	1・2年次	-	2			
実践課題実習	1・2年次	-	2			
特別研究	特別研究	10単位	2年次	10	10	
	実践課題研究		2年次	10	10	

各コースの学習過程



4. 看護学専攻 指導教員の連絡先一覧

教員氏名	教育・研究内容	内線番号	FAX 番号	E-mail
さとう かずこ 佐藤 和子	看護学の基礎となるケアの概念や理論に関する研究。特に、「看護診断の妥当性に関する検討」や「尿失禁・排尿ケアに関する研究」に取り組んでいる。	5034	5034	satokaz
はらだ ちづる 原田 千鶴	看護専門職の人材育成・職場適応に関する研究	5035	5035	charada
しまだ たつお 島田 達生	解剖学, 循環器学, 健康科学	5032	5032	tshimada
すぎた さとる 杉田 聡	健康や病いに関わる事象を医療社会的に分析する。病い体験, 病者役割, 医療者 - 患者関係など病者や患者を対象とした研究や, 看護学領域における情報のあり方や保健医療制度に関する研究の他, 倫理的な考察も含む。	5033	-	ssugita
ふくい ゆきこ 福井 幸子	学部教育では, 主に成人看護学に関する教科, 大学院では医療・看護の管理・マネジメントに関する教科を担当する。研究では医療や看護のシステム構築に関心を持ち, ささまざまな看護の場でのケアシステムを探求する。	5053	5053	fukui
いとうえ りょう 井上 亮	講義は疾病論(内科・外科)の講義を担当している。また, 脳神経外科専門医として, 脳卒中を中心とした中枢神経系疾患の教育も重点的に行っている。研究は, 分子生物学的手法を用いて, 基礎的・臨床的な悪性脳腫瘍の遺伝子解析を行っている。	5051	5051	ryo
あない たかのぶ 穴井 孝信	母子保健学が専門。疫学調査による低出生体重児の原因及び対策について調査中。骨粗鬆症, 腹圧性尿失禁の疫学的調査も行っている。	5071	5071	anaita
しんかい よしこ 新開 淑子	専門は精神看護学。ストレスとメンタルヘルス, 精神障害者に対する心理社会的アプローチに関する研究に取り組んでいる。	5074	5074	yshin061
みやざき ふみこ 宮崎 史子	専門は小児看護学である。健康障害をもった子どもとその家族の支援について・小児看護学における授業の展開方法について探求している。	5075	5075	fumikom
みずたに さちこ 水谷 幸子	助産師の「わざ」や周産期看護, 性・生殖に関する研究	5072	5072	smizutan
いで ちえこ 井手知恵子	地域看護活動, 特に公衆衛生看護活動における看護実践能力の開発と方法論の構築, 及び地域看護管理の理論と方法論の開発について探究している。	5094	5094	chide
みえの えいこ 三重野英子	高齢者とその家族の健康を支援するための理論や看護方法を探究する。主に認知症高齢者の看護, 高齢者への生活援助技術(足指・爪のケア, 口腔ケア等)をテーマとした研究をすすめている。	5093	5093	eikomi
はまぐち かずゆ 濱口 和之	糖尿病などの生活習慣病や遺伝性疾患の看護の在り方を学ぶ。また, 医学的データに基づいた看護介入(ケア・看護治療)ができ, 医療スタッフの中核として協調性をもち, チーム医療をリードできる看護師の育成をめざす。研究領域は, (1) 代謝内分泌疾患(糖尿病・肥満・内分泌), (2) 臨床遺伝学	5091	5091	khamaguc
しが 志賀たずよ	地区を単位とした地域看護活動方法に関する研究。予防的看護活動の理論と方法論, 看護基礎教育における地域看護学教育について探求中。	5092	5092	t-siga

- (注) 1. 出願を希望するものは、あらかじめ志望する指導教員と相談の上、志望する専攻コースを定めて出願してください。(第2志望まで出願する者は、第2志望の指導教員とも必ず相談してください。)
2. 本学はダイヤルイン方式となっています。したがって、市外から電話等をする場合は市外局番(097)及び局番(586)の後に内線番号をダイヤルすれば、担当教員と直接通話等ができます。
3. E-mail はドメイン名以下(@med.oita-u.ac.jp)を省略して表示しています。

5. 修了の要件

修士課程の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、P.10の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者とします。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

6. 学位の授与

修士課程医科学専攻を修了した者には、修士(医科学)の学位を授与します。

修士課程看護学専攻を修了した者には、修士(看護学)の学位を授与します。

7. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料(年額) 535,800円(前期分 267,900円 後期分 267,900円)

注1 入学料・授業料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度があります。申請手続きは、入学料・授業料の納付前に行う必要がありますので、詳細については学生支援課奨学支援グループ(TEL 097-554-7386)へ問い合わせてください。

注2 授業料については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納入することができます。

注3 国費外国人留学生については、入学料・授業料を納付する必要はありません。

注4 入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

8. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があり、本人の申請により貸与が認められた場合の貸与月額は、次のとおりです。

大学院第一種奨学金(無利子)	月額 88,000円
大学院第二種奨学金(有利子)	月額 50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円から選択

9. 大分大学入学料・授業料奨学融資制度

平成18年度より大分銀行と連携して発足した制度です。学生本人が大分銀行から当期授業料の融資を受けませんが、元本返済は卒業後となり、在学中の利息を本人に代わり本学が支払います。(利息の返還義務はありません)

せん)融資制度利用については条件がありますので、詳しくは、学生支援課奨学支援グループ(TEL 097 - 554 - 7386)にお問い合わせください。

10. 学生教育研究災害傷害保険制度

この保険は、大学院在学中の実験・実習等の正課、学校行事又は課外活動中及び通学中に不慮の事故により被った負傷、死亡等の災害に対する補償制度であり、保険料は2年間分で2,100円です。

11. 問い合わせ先

大分大学学生支援部入試課

〒870 - 1192 大分県大分市大字旦野原700番地

TEL 097 - 554 - 6701

大分大学位置図

大分大学学生支援部入試課（旦野原キャンパス）

所在地 大分県大分市大字旦野原 700 番地

T E L 097-554-6701

交通アクセス JR 利用（JR 豊肥本線）

「大分大学前駅」下車（大分駅より約 12 分：240 円）、徒歩約 5 分

バス利用（大分バス）

トキハデパート前から

・「高江ニュータウン・大南団地」又は「大分大学」行きを利用。「大分大学」又は「大分大学正門」下車（約 40 分：360 円）

・「戸次，臼杵，竹田，三重，佐伯」行き等を利用。「大分大学入口」下車（約 40 分：350 円）、徒歩約 10 分

大分大学医学部（挾間キャンパス）

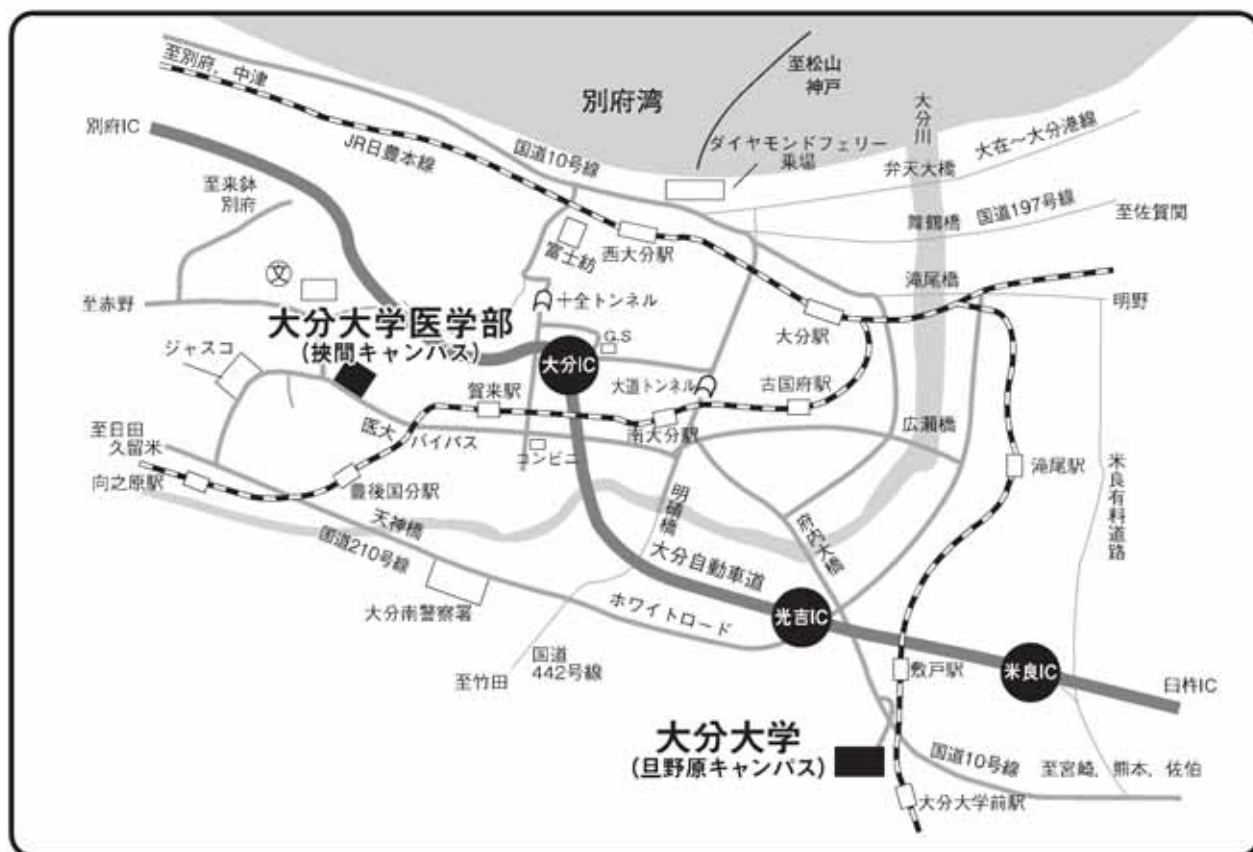
所在地 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1 丁目 1 番地

T E L 097-586-5540, 5541

交通アクセス バス利用（大分バス）

トキハデパート前又は JR 大分駅前から「大学病院」行きを利用。

（所要時間約 40 分：410 円）



入学試験に関する問い合わせ先

〒870 - 1192 おおいたけんおおいたしおおおぎだんのほろ 大分県大分市大字巨野原700 番地
大分大学学生支援部入試課

TEL 097-554-6701

なお、この募集要項の内容はホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）にも掲載しています。